

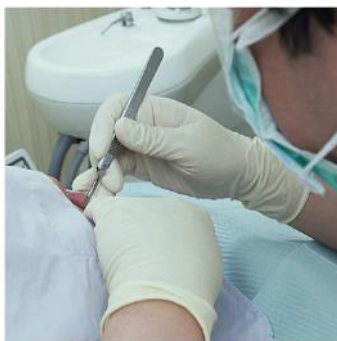
医業経営情報 REPORT

4 | 2016

歯科医院

平成 27 年決算データからみる 歯科診療所経営実績分析

- ① 平成 27 年
歯科診療所経営実績分析
- ② 平成 27 年
収入上位歯科診療所の経営実態
- ③ 平成 27 年
収入ランク別経営実績分析
- ④ 平成 27 年
医療法人立歯科診療所経営指標分析



Available Information Report for Medical Institution Management



1 | 平成 27 年 歯科診療所経営実績分析

1 | 歯科診療所経営実績分析

本調査は、平成 27 年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している平成 26 年との比較を通じ、経営の改善または悪化の状況を分析しています。抽出したデータは、平成 27 年に決算を終えた歯科診療所 229 件（医療法人 57 件、個人開業 172 件）の数値を抽出し、平均値を算出したものです。なお、本分析では、個人開業及び医療法人の実数値をそれぞれ集計した後に、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与を除いています。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	54,550	56,282	103.2%
1. 保険診療収入	45,759	46,618	101.9%
2. 自由診療収入	8,527	9,392	110.1%
3. その他の医業収入	264	272	103.0%
II 変動費	10,799	11,148	103.2%
医薬・歯科材料費	4,925	5,062	102.8%
外注技工料	5,874	6,086	103.6%
III 限界利益	43,751	45,134	103.2%
IV 変動費外医業費用	34,534	35,023	101.4%
1. 人件費	9,826	10,187	103.7%
2. その他医業費用	24,708	24,836	100.5%
減価償却費	4,345	3,984	91.7%
接待交際費	794	818	103.0%
研究研修費	340	366	107.6%
保険料	578	614	106.2%
消耗器具備品費	800	766	95.8%
その他経費	17,851	18,288	102.4%
V 医業利益	9,217	10,111	109.7%

2 | 歯科診療所 全体動向と利益の状況

(1) 歯科診療所 全体動向

平成 27 年における歯科診療所の経営実績は、平成 26 年と比較して増収増益となりました。黒字診療所は、全体の 93.0%を占めています。

医業収入は、3.2%のプラス、うち保険診療収入は 1.9%の増加、自由診療収入は 10.1%の増加となりました。変動費は、3.2%の増加で、限界利益は 3.2%のプラスとなりました。

変動費外医業費用の増加は、1.4%となり、医業費用は 9.7%の増加となりました。

◆ 医業収入・費用等全体の状況

● 医業収入

医業収入は 56,282 千円で、1,732 千円（対前年比 3.2%）の増加となっています。内訳としては、保険診療収入が 859 千円（対前年比 1.9%）、自由診療収入が 865 千円（対前年比 10.1%）、その他医業収入が 8 千円（対前年比 3.0%）の増加となりました。

● 変動費

変動費（医薬歯科材料費・外注技工料等）は 11,148 千円で、349 千円（対前年比 3.2%）の増加となっています。

● その他医業費用

その他医業費用は 24,836 千円で、128 千円（対前年比 0.5%）の増加となっています。減価償却費が 8.3%の減少、接待交際費 3.0%の増加、研究研修費、保険料、およびその他経費は増加し、消耗器具備品費は減少しています。

● 医業利益

医業利益は 10,111 千円で、894 千円（対前年比 9.7%）の増加となっています。

(2) 歯科診療所利益動向

限界利益、医業利益、経常利益の全てが増加となりました。

限界利益が対前年比 103.2%、医業利益は同 109.7%、経常利益が同 110.5%という結果を示しています。

■ 限界利益・医業利益・経常利益

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
限界利益	43,751	45,134	103.2%
医業利益	9,217	10,111	109.7%
経常利益	11,381	12,576	110.5%

3 | 医業収入 対前年増減比較分析

(1) 医業収入分析

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では、対前年比 103.2%を示しており、保険診療収入が 1.9%の微増に対し、自由診療収入が 10.1%の伸びとなっています。

■ 医業収入

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
医業収入合計	54,550	56,282	103.2%
保険診療収入	45,759	46,618	101.9%
自由診療収入	8,527	9,392	110.1%
その他医業収入	264	272	103.0%

■ 医業収入分析

● 医業収入

医業収入は 56,282 千円で、1,732 千円の増加となりました。内訳として、保険診療収入は 859 千円（前年対比 1.9%）、自由診療収入は 865 千円（対前年比 10.1%）、その他医業収入は 8 千円（対前年比 3.0%）の増加となりました。

● 総収入に占める自由診療収入の割合

平成 26 年は 15.6%ですが、平成 27 年では 16.7%となっており、増加しています。

4 | 医業費用 対前年増減比較分析

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、次のとおりです。

変動費は 3.2%の増加となり、人件費は 3.7%増、その他医業費用は 0.5%増加しました。

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
変動費合計	10,799	11,148	103.2%
変動费率	19.8%	19.8%	—
薬品・歯科材料費	4,925	5,062	102.8%
外注技工料	5,874	6,086	103.6%

②人件費

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
人件費合計	9,826	10,187	103.7%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
その他医業費用合計	24,708	24,836	100.5%
減価償却費	4,345	3,984	91.7%
接待交際費	794	818	103.0%
研究研修費	340	366	107.6%
保険料	578	614	106.2%
消耗器具備品費	800	766	95.8%
その他	17,851	18,288	102.4%

(2)医業費用分析

●変動費

変動費は 11,148 千円で、349 千円の増加となりました。

医業収入増加に伴い医薬・歯科材料費は 137 千円、外注技工料は 212 千円増加しています。

●人件費

人件費は 10,187 千円で、361 千円増加しました。

●その他医業費用

その他医業費用は 24,836 千円で、128 千円の増加となりました。そのうち減価償却費が 361 千円減少し、実質の経費増加額は 489 千円となります。

2 | 平成 27 年 収入上位歯科診療所の経営実態

1 | 収入上位歯科診療所経営分析の概要

第 1 章で分析した歯科診療所 229 件（医療法人 57 件、個人開業 172 件）の決算書より、医業収入上位 20%を抽出し、経営データを集計しました。分析の分母は 46 件であり、その内訳は、医療法人 27 件、個人開業 19 件です。

■平成 27 年 収入上位歯科診療所比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	104,268	109,724	105.2%
1. 保険診療収入	81,047	83,830	103.4%
2. 自由診療収入	22,722	25,444	112.0%
3. その他の医業収入	499	450	90.2%
II 変動費	20,895	22,200	106.2%
医薬・歯科材料費	9,929	10,308	103.8%
外注技工料	10,966	11,892	108.4%
III 限界利益	83,373	87,524	105.0%
IV 変動費外医業費用	70,558	72,796	103.2%
1. 人件費	26,593	27,460	103.3%
2. その他医業費用	43,965	45,336	103.1%
減価償却費	6,697	6,386	95.4%
接待交際費	1,554	1,630	104.9%
研究研修費	675	741	109.8%
保険料	1,758	1,924	109.4%
消耗器具備品費	1,424	1,309	91.9%
その他	31,857	33,346	104.7%
V 医業利益	12,815	14,728	114.9%

2 収益性の状況

(1) 経営動向と利益状況

平成 27 年歯科診療所全体の経営実績は増収増益であり、収入上位診療所も同様に増収増益となりました。

■限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
限界利益	83,373	87,524	105.0%
医業利益	12,815	14,728	114.9%
経常利益	12,140	14,610	120.3%

結果として、医業利益は 14.9%の増加、経常利益も 20.3%の増加となっています。

● 医業収入

医業収入は 109,724 千円で、5,456 千円（対前年比 5.2%）の増加となりました。

保険診療収入が 2,783 千円（対前年比 3.4%）、自由診療収入が 2,722 千円（対前年比 12.0%）と増加し、その他収入が 49 千円（対前年比△9.8%）減少しています。

● 変動費

変動費は 22,200 千円で、1,305 千円（対前年比 6.2%）の増加となりました。

● 医業費用

医業費用は 72,796 千円で、2,238 千円（対前年比 3.2%）の増加となりました。研究研修費やその他等は増加していますが、減価償却費と接待交際費、および消耗器具備品費は減少しています。

● 医業利益

医業利益は 14,728 千円で、1,913 千円（対前年比 14.9%）の増加となりました。

3 | 医業収入の状況

(1) 医業収入 対前年比較

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
医業収入合計	104,268	109,724	105.2%
保険診療収入	81,047	83,830	103.4%
自由診療収入	22,722	25,444	112.0%
その他医業収入	499	450	90.2%

(2) 医業収入分析

● 医業収入

医業収入は 109,724 千円で、5,456 千円（対前年比 5.2%）の増加となりました。保険診療収入が 2,783 千円（対前年比 3.4%）の増加、自由診療収入が 2,722 千円（対前年比 12.0%）の増加、その他医業収入が 49 千円（対前年比△9.8%）の減少となっています。

4 | 医業費用の実態

(1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は以下のように、変動費は 6.2%の増加、人件費は 3.3%の増加、その他医業費用は 3.1%の増加となっています。

① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
変動費合計	20,895	22,200	106.2%
変動比率	20.0%	20.2%	—
医薬・歯科材料費	9,929	10,308	103.8%
外注技工料	10,966	11,892	108.4%

② 人件費

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
人件費	26,593	27,460	103.3%

③その他医業費用

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
その他医業費用合計	43,965	45,336	103.1%
減価償却費	6,697	6,386	95.3%
接待交際費	1,554	1,630	104.9%
研究研修費	675	741	109.8%
保険料	1,758	1,924	109.4%
消耗器具備品費	1,424	1,309	91.9%
その他	31,857	33,346	104.7%

(2)医業費用分析

●変動費

変動費は 22,200 千円で、1,305 千円（対前年比 6.2%）の増加となりました。

医薬・歯科材料費は増加（379 千円、対前年比 3.8%増）となり、外注技工料も 926 千円、対前年比 8.4%と増加しました。

●人件費

人件費は 27,460 千円で、867 千円（対前年比 3.3%）増加しています。（計上した人件費は役員報酬を除いて再計算）。

労働分配率は 31.4%で、前年と比較すると 0.4%減少しました。限界利益の伸びが人件費の伸びを上回ったことが要因です。

●その他医業費用

その他医業費用は 45,336 千円で、1,371 千円（対前年比 3.1%）増加しました。

減価償却費が 311 千円（対前年比△4.6%）、消耗器具備品費が 115 千円（対前年比△8.1%）減少したのに対し、接客交際費 76 千円（対前年比 4.9%）、研究研修費 66 千円（対前年比 9.8%）、保険料 166 千円（対前年比 9.4%）、その他は 1,489 千円（対前年比 4.7%）の増加となりました。

3 | 平成 27 年 収入ランク別経営実績分析

1 | 歯科診療所収入ランク別経営実績分析の概要

本分析では、平成 27 年に決算を終えた歯科診療所 229 件（医療法人 57 件、個人開業 172 件）から、医業収入が年間 5 千万円未満の診療所、5 千万円以上 1 億円未満の診療所、1 億円以上の診療所に分けて抽出したデータを分析しました。

第 1 章同様、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■各データのサンプル数

● 5 千万円未満	122 件（医療法人 14 件 個人開業 108 件）
● 5 千万円以上 1 億円未満	85 件（医療法人 26 件 個人開業 59 件）
● 1 億円以上	22 件（医療法人 16 件 個人開業 6 件）

医業収入別の個別データは、次ページ以降に掲載しました。収入ランク別に集計した主要データは、下記のとおりです。

■平成 27 年 収入ランク別主要データ

（単位：千円）

医業収入 ランク	5 千万円未満 平均	5 千万円～1 億円 平均	1 億円以上 平均
医業収入	32,803	69,454	135,606
変動費	6,174	14,038	27,561
限界利益	26,629	55,416	108,045
人件費	4,433	12,053	36,082
その他医業費用	15,849	29,819	55,379
医業利益	6,347	13,544	16,584

2 | 収入ランク別診療所経営実績分析結果

(1) 医業収入 5 千万円未満の診療所の平均データ

医業収入 5 千万円未満診療所の集計データです。このランクの歯科診療所は、わずかながら増収・増益となり、医業収入は 12 千円増収となっています。

医業利益は、6,347 千円（対前年比 7.4%増加）で、変動費、固定費とも減少となった結果です。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	32,791	32,803	100.0%
1. 保険診療収入	29,504	29,336	99.4%
2. 自由診療収入	3,145	3,334	106.0%
3. その他の医業収入	142	133	93.7%
II 変動費	6,270	6,174	98.5%
医薬・歯科材料費	2,697	2,688	99.7%
外注技工料	3,573	3,486	97.6%
III 限界利益	26,521	26,629	100.4%
IV 変動費外医業費用	20,612	20,282	98.4%
1. 人件費	4,376	4,433	101.3%
2. その他医業費用	16,236	15,849	97.6%
減価償却費	3,220	2,756	85.6%
接待交際費	461	466	101.1%
研究研修費	164	167	101.8%
保険料	169	166	98.2%
旅費交通費	334	328	98.2%
通信費	316	329	104.1%
消耗器具備品費	484	496	102.5%
水道光熱費	740	720	97.3%
その他	10,348	10,421	100.7%
V 医業利益	5,909	6,347	107.4%

n=122 件（医療法人 14 件 個人開業 108 件）

(2) 医業収入 5 千万円～1 億円の診療所の平均データ

医業収入 5 千万円～1 億円の診療所の集計データです。このランクの歯科診療所は、増収増益となり、医業収入は 4.4% 増加しました。

医業利益は、13,544 千円（対前年比 8.2% 増加）となりました。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	66,532	69,454	104.4%
1. 保険診療収入	56,791	58,726	103.4%
2. 自由診療収入	9,340	10,282	110.1%
3. その他の医業収入	401	446	111.2%
II 変動費	13,241	14,038	106.0%
医薬・歯科材料費	6,114	6,450	105.5%
外注技工料	7,127	7,588	106.5%
III 限界利益	53,291	55,416	104.0%
IV 変動費外医業費用	40,769	41,872	102.7%
1. 人件費	11,653	12,053	103.4%
2. その他医業費用	29,116	29,819	102.4%
減価償却費	4,976	4,900	98.5%
接待交際費	992	1,034	104.2%
研究研修費	398	418	105.0%
保険料	737	764	103.7%
旅費交通費	916	959	104.7%
通信費	478	500	104.6%
消耗器具備品費	1,024	969	94.6%
水道光熱費	1,013	1,010	99.7%
その他	18,582	19,265	103.7%
V 医業利益	12,522	13,544	108.2%

n=85 件（医療法人 26 件 個人開業 59 件）

(3) 医業収入 1 億円以上の診療所の平均データ

医業収入 1 億円以上の診療所の集計データです。このランクの歯科診療所は、増収増益となり、医業収入は 5.4% 増加しています。

医業利益は、16,584 千円（対前年比 23.0% 増加）となりました。

■平成 27 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
I 医業収入	128,680	135,606	105.4%
1. 保険診療収入	93,270	95,680	102.6%
2. 自由診療収入	35,000	39,551	113.0%
3. その他の医業収入	410	375	91.5%
II 変動費	26,479	27,561	104.1%
医薬・歯科材料費	12,686	12,862	101.4%
外注技工料	13,793	14,699	106.6%
III 限界利益	102,201	108,045	105.7%
IV 変動費外医業費用	88,719	91,461	103.1%
1. 人件費	34,165	36,082	105.6%
2. その他医業費用	54,554	55,379	101.5%
減価償却費	8,142	7,255	89.1%
接待交際費	1,871	1,940	103.7%
研究研修費	1,045	1,218	116.6%
保険料	2,235	2,519	112.7%
旅費交通費	2,036	2,130	104.6%
通信費	765	835	109.2%
消耗器具備品費	1,693	1,481	87.5%
水道光熱費	1,481	1,553	104.9%
その他	35,286	36,448	103.3%
V 医業利益	13,482	16,584	123.0%

n=22 件（医療法人 16 件 個人開業 6 件）

4 | 平成 27 年 医療法人立歯科診療所経営指標分析

1 | 医療法人立歯科診療所経営指標分析の概要

本章では、医療法人立歯科診療所 57 件をベースに、それぞれ貸借対照表の数値から、経営指標を算出しました。分析は、収益性、生産性、安全性、成長性の 4 つの視点で行っています。第 3 章までの分析は、医療法人・個人開業のデータの平均値を用いましたが、役員報酬・専従者給与を除いており、このままの数値を用いると経営指標が正しい数値とならないため、経営指標分析においては医療法人のデータだけを用いて分析を行いました。

■平成 27 年比較貸借対照表 医療法人

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	平成 26 年	平成 27 年		平成 26 年	平成 27 年
【流動資産】	29,887	32,269	【流動負債】	13,271	13,046
現金・預金	13,128	14,731	買掛金	1,345	1,153
医業未収金	9,462	9,485	その他	11,926	11,893
その他	7,297	8,053	【固定負債】	23,609	23,554
【固定資産】	33,553	34,155	長期借入金	17,405	17,139
[有形固定資産]	21,093	20,838	その他	6,204	6,415
[無形固定資産]	3,360	3,730	負債合計	36,880	36,600
[その他の資産]	9,100	9,587	資本の部		
				平成 26 年	平成 27 年
			【出資金】	7,492	7,492
			【利益剰余金等】	19,068	22,332
			資本合計	26,560	29,824
資産合計	63,440	66,424	負債・資本合計	63,440	66,424

■平成 27 年比較損益計算書 医療法人立歯科診療所平均

経営指標分析は貸借対照表と損益計算書のうち、以下の数値を用います。なお、役員及び職員数については平均値を算出し、役員 3 名、職員数 6 名の計 9 名で計算しています。

■ 医業収支

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 27 年	前年対比
医業収入計	80,952	83,118	102.7%
限界利益	65,032	66,501	102.3%
給与費計	40,197	40,341	100.4%
医業利益	7,339	8,643	117.8%
経常利益	3,357	4,481	133.5%

2 | 収益性分析結果

		平成 26 年	平成 27 年	差異
収益性	総資本経常利益率	5.3%	6.7%	1.4%
	医業収入医業利益率	9.1%	10.4%	1.3%
	医業収入経常利益率	4.1%	5.4%	1.3%
	総資本回転率	1.3 回	1.3 回	—

■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除したもの	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したもの	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る	医業収入 ÷ 総資本

■ 収益性分析コメント

● 利益率

総資本経常利益率は平成 27 年が 6.7%で、対前年比 1.4%増加、医業収入医業利益率は、平成 27 年 10.4%で、対前年比 1.3%増加、医業収入経常利益率は、平成 27 年が 5.4%で、対前年比 1.3%の増加となっています。

● 総資本回転率

総資本回転率は平成 27 年 1.3 回で、前年と同じ結果となりました。

3 | 生産性分析結果

		平成 26 年	平成 27 年	差異
生産性	限界利益率	80.3%	80.0%	△0.3%
	1 人当たり医業収入/月	750 千円	770 千円	20 千円
	1 人当たり限界利益/月	602 千円	616 千円	14 千円
	1 人当たり人件費/月	372 千円	373 千円	1 千円
	労働分配率	61.8%	60.7%	△1.1%

■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費を控除した限界利益の医業収入に対する比率	限界利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る	(医業収入 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	(限界利益 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料等の事業所負担も含めたもの）を見る	(総額人件費 ÷ 職員数) ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100 (%)

■ 生産性分析コメント

- 限界利益率…平成 27 年は 80.0%で、対前年比 0.3%減少しました。
- 一人当たり医業収入…平成 27 年は 770 千円で、対前年比 20 千円減少しました。
- 一人当たり限界利益…平成 27 年は 616 千円で、対前年比 14 千円増加しました。
- 一人当たり人件費…平成 27 年は 373 千円で、対前年比 1 千円増加しました。
- 労働分配率…平成 27 年は 60.7%で、対前年比 1.1%減少しました。

4 | 安全性分析結果

		平成 26 年	平成 27 年	差異
安全性	流動比率	225.2%	247.3%	22.1%
	当座比率	170.2%	185.6%	15.4%
	固定比率	126.3%	114.5%	△11.8%
	固定長期適合率	66.9%	64.0%	△2.9%
	自己資本比率	41.9%	44.9%	3.1%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	流動資産÷流動負債×100 (%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	当座資産÷流動負債×100 (%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	固定資産÷自己資本×100 (%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る	固定資産÷(自己資本+長期負債)×100 (%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る	自己資本÷総資産×100 (%)

■安全性分析コメント

- 平成 27 年の指標では、流動比率は対前年比 22.1%増加し、短期的な債務返済能力は高いと判断できます。また、換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。自己資本比率も他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全と評価できます。

5 | 成長性分析結果

		平成 26 年	平成 27 年
成長性	医業収入増加率	1.8%	2.7%
	限界利益増加率	1.6%	2.3%
	医業利益増加率	△6.9%	17.8%
	経常利益増加率	△6.6%	33.5%

■成長性分析コメント

- 成長性は全て増加となりました。
前回調査では、増収・減益であったため、医業利益増加率、経常利益増加率が共にマイナスとなっています。
今回調査では、増収・増益と業績が好転する結果となったため、プラスに転じました。